

平成27年度第3回「墨田区子ども・子育て会議」
「乳幼児ワーキンググループ専門委員会」議事要旨

日時：平成27年6月30日（火）午後6時00分～7時05分
会場：区役所21会議室

次 第

- 1 開会
- 2 議題

議 題
(1) 取り組み状況の経過報告
(2) ディスカッション
(3) 今後のスケジュールの確認
(4) その他

- 3 次回開催予定
・9/8（火）18時～

- 4 閉会

配布資料

- ・「子ども主体の協同的な学びプロジェクト」進捗状況および今後の予定について
- ・幼稚園・保育園のアドバイザー及び打ち合わせ日程（お知らせ）

出席者（敬称略）

委員

大豆生田 啓友（玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授）
高嶋 景子（田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授）
長田 朋久（横川さくら保育園長）
近藤 ゆき江（八広幼稚園園長）
宮本 佳代子（花園保育園園長）
三弊 典子（光の園保育学校園長）
（その他、各園の担当者）

< 欠席委員 >

本多 美絵子（両国幼稚園副園長）

部長出席者

石井 秀和（子ども・子育て支援担当部長）

事務局出席者

早川（子ども課）、田村（子育て支援課）

事務局（株）地域総合計画研究所）

佐々木

議事概要

1 取り組み状況の経過報告

- ・アドバイザーが年3回来園した後に公開保育となる。
- ・年度末に4園合同の発表会を行う。

【光の園保育学校の状況】

- ・親水公園で舟を浮かす遊びを行っており、色々な材料が舟として浮くかどうか試している。
- ・河童が出てくると信じて、隅田公園で河童を釣る遊びをやっている。
- ・本プロジェクトの終着点をどこにするか悩んでいる。子どもの関心は色々なところにあり、複数の活動が同時進行し、また、一方では忘れられる遊びや活動もある。
- ・失敗するだろうと考えられる遊びについてもやらせて、あえて失敗の経験をさせている。

【花園保育園の状況】

- ・オタマジャクシの取り組みやお化け屋敷の取り組みなど子どもが主体で活動が盛り上がっている。
- ・お化け屋敷の活動の中でTシャツを作成することとなり、地域の人に頼んで作ってもらう方向性である。これから地域や保護者を巻き込んでいきたいし、どうやってTシャツが作られるか分かるようであればと思う。
- ・落とし所について悩んでいる。ある程度の見通しは持ちたいが、アドバイザーからは、こちら側が計画通りで進めていこうとするのではなく、子どもたちから出てきた活動を大事にすることと助言をもらっている。

【あづま幼稚園の状況】

- ・野菜園で野菜の成長の過程を見ている中で、二十日大根に興味を持って育て、実や葉を食べた後、種を植えたが虫に食われた。そのため、なぜ虫に食われたのか、虫に関心に移り、その中でモンシロチョウに関心が移っていった。
- ・折り紙から牛乳パックまで、多くの紙素材から色々なものを作っている。

【緑幼稚園の状況】

- ・子どもたちによる協同的な学びが色々あると気付けた。
- ・鯉のぼりを作る活動において、年度初めでクラス替えをしたばかりということもあり、5～6人のグループではなく、生活グループの2～3人の仲の良い子どもたちでやらせたら、色々な意見が出ていた。
- ・動く車とコースを作る中で、遊びが広がっている。自分たちが乗れるような車づくりから、ガソリンスタンド等のお店づくりなど、遊びが広がっていった。
- ・プラネタリウムづくりでは、一人でやってはうまくいかないが、みんなでやれば作れる経験ができた。

2 ディスカッション

【公開保育に向けた落とし所・終着点について】

- ・何か明確なテーマをもって長期的な活動とするよりも、短い活動をたくさん集めてはどうか。
- ・言ってみれば「短編」で良い。公開保育では、普段の遊びから学んでいることを見せて、そこから協同的な学びを考えることができればよい。
- ・予め終着点を定めて取り組みは避けたい。子どもの活動としては、連続で同時進行している（していく）ことが大切である。活動自体は短編で良く、記録や履歴が残っていれば良い。逆に、公開保育当日に整っているのは不自然であるし、テーマ性もなく良い。園側があまり構えなくても良い。
- ・テーマ性はなくても良く、短編でも良いが、そうなると、園側としては、当日に何をして良いかと考えないか。
- ・公開保育当日は、決まっている行事（調理）を予定している。
- ・調理の中にも、協同的な学びとして大事なことはあるだろう。それを見てもらえれば良い。
- ・従来は、公開保育のために見せる活動をしていたが、このプロジェクトではその時の子ども同士のやりとりや子ども主体の活動で良い。
- ・公開保育後に、意見交換や認識を共有するための時間を設け、議論等をしたい。
- ・見てもらう方へ、園としての思いや視点等を事前アナウンスができれば良いのではないか。
- ・調理までに至る経過も大事だろう。

【5～6人グループと2～3人グループでの活動について】

- ・新年度の4月で、グループにおいて自己を発揮する程度に個人差があり、みんなで何かをやることが把握できていない時期であった。5～6人だとはっきり言えなくとも、仲の良い2～3人だと主張でき、それまでとは異なる姿勢が見られた。
- ・まだ人間関係ができていない中で、自分の意見を主張したり相手の意見を聴いたりする経験のための鯉のぼり作成である。作り上げた満足感と連帯感の経験を考慮した活動である。
- ・自由な時間と一斉の時間の分断ではないことが大事である。このプロジェクトにおいては、どちらの時間でも構わない。
- ・協同的な学びが自然に発生する姿を含めた記録になればよい。
- ・自由遊びの中から別の活動への意見や考えが出てくることもあるだろう。

【公開保育に向けたイメージ等】

- ・資料作成も負担にならないように、現場の先生たちも楽しかったと思えるようにしてほしい。
- ・写真はこまめに取っておくとよい。
- ・アドバイザーが初回打ち合わせで来た際、給食の時間にそれまで作っていたブロックを片付けており、活動の連続性についての指摘があった。おもちゃをどこかに片付けないと給食は食べられず、自由な制作場所の確保にも話が及んだが、活動の連続性が分断されていたことに気付いた。

3 今後のスケジュールの確認

【公開保育の日程等について】

- ・予定では、11/6と11/10で近い園があり、調整は必要となるか。
- ・園として11月の実施は問題ない。逆に12月だと参加しにくい。ただし、11/6と11/10は週が異なるため問題ない。
- ・あづま幼稚園としては1月下旬を考えている。
- ・あづま幼稚園と光の園保育学校の実施は1週間ずらすように調整してほしい。
- ・できれば色々な人に見てほしい。

- ・公開保育を見れる人は、基本的に専門委員会のメンバーとプロジェクトに関わっている園の職員となっている。
- ・見せるのは基本的にプロジェクトの対象となっているクラスとする。他のクラスが見えてしまうのは致し方ない。
- ・事前に来園可能な人数や参加受付場所を通知した方が良い。人数は公開保育後の意見交換等の場によるだろう。できれば20人くらいにしてほしい。事前に人数を事務局に伝えることとする。
- ・7月いっぱいまでに、事務局へ公開保育の来園可能人数を伝えてほしい。

【決定内容】

- ・公開保育に向けて、テーマ性を持たなくても良く、「短編」の活動を集めた形で良い。
- ・日々の活動の写真はこまめに取っておく。
- ・公開保育の日程は同じ週にならないよう、1週間程度ずらして設定する。
- ・各園で公開保育に来園可能人数を7月いっぱいまで事務局へ伝える。

次回

- ・次回は親会議や企画会等の都合で決めたい。公開保育前の9~10月くらいに開催を考えている。
(終了後の企画会にて、9月8日(火)18:00~に決定)

以上